



2年生 清水優月さん



3年生 長谷川知英さん

岐阜県高等学校英語スピーチコンテスト西濃大会で

2年生清水優月さんが第2位に入賞！

令和6年9月14日（日）に第17回岐阜県高等学校英語スピーチコンテスト西濃地区大会が大垣養老高等学校伊吹ホールで開催されました。各高等学校の学校長から推薦された5名以内の生徒が参加することができ、当日の参加者は25名でした。スピーチの制限時間は4分30秒から5分30秒以内で、その中に納めなければ減点となります。

本校からは3年生の長谷川知英さんと2年生の清水優月さんが参加し、清水さんが第2位に入賞し、10月13日（日）に岐阜県図書館で開催される県大会に駒を進めることになりました。西濃地区から参加できるのは上位4名のみで、県内全ての参加者を合わせると20名で競うこととなります。

長谷川さんのタイトルは『To My Future Self』。原稿は、高校1年次に英語教師になる夢をもち、シャイな自分を変えるため毎年スピーチコンテストに参加したり、大垣市派遣のアメリカへの研修や様々な英語イベントに参加したりすることで大きく自分が変わったことを発表しました。非常に堂々とした発表で、多くのALTの先生方からの評価が高かったそうです。



清水さんのタイトルは『Towards Coexistence with AI』。原稿は、クラスの10人にAIについて尋ねたことをきっかけに、高校生の目線でAIの利点とその問題点を検証し、この先いかに共存していくかについて発表しました。非常に落ち着いて、的確かつ効果的に自分の思いを聴衆に訴え、今回の入賞となりました。